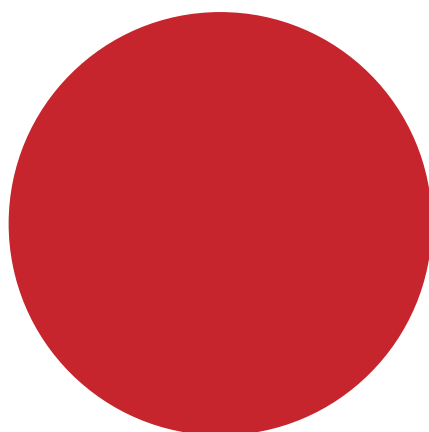


特集

巡る日本遺産

～明治の偉人を訪ねて～



JAPAN HERITAGE

日本遺産

明治 150 年となる本年 5 月 24 日、矢板市・那須塩原市・大田原市・那須町の 4 市町による 2 年越しの取り組みが実を結び、明治期の貴族たちが私財を投じて開拓した那須野が原開拓の歴史や 32 の文化財で構成された「ストーリー」が「日本遺産」の認定を受けました。

今号では、本市にある日本遺産の構成文化財である「山縣有朋記念館」、「矢板武記念館」を「やいたシクロアンバサドゥール」の高坂 美歩さんが訪れ、明治期に活躍した「山縣 有朋」、「矢板 武」両氏にまつわるお話を伺いました。

山縣有朋記念館



『やいたの四季』観光写真コンテスト入賞作品



山縣 有朋

山縣有朋（1838～1922年）、山口県生まれ。1889年第1次山縣有朋内閣を組織。のち法相、枢密院議長などを歴任し、1898年第2次内閣を組織。退陣以後は、元老として首相の選任や重要政策の決定に参画した。明治政府が推し進めた殖産興業施策のもと、那須野が原地域に次々と大規模農場が拓かれ、山縣も矢板市北部に農場を開設した。

日本を担って拓かれた

道の駅やいたから主要地方道矢板那須線を北上し、市郷土資料館（旧上伊佐野小学校）の脇を通り過ぎると田園風景のなかをまっすぐ伸びる一本道が姿を現します。

明治期、那須野が原一帯は貴族階級の人たちにより大規模農場が次々と拓かれました。そして箒川を挟んで隣接する、この広大な土地は山縣有朋公によって拓かれました。大規模農場の面影は、今なおそこに整然と広がる田園の姿となって残っています。



貴重な明治の洋風建築



その一本道を進むと山あいなたたずむ洋風建築の建物、山縣有朋記念館が姿を現します。

市生涯学習課の津野田学芸員が、到着した高坂美歩さんを案内してくれました。

美歩 すてきな洋館ですね。いつ頃建てられたものなんですか？

津野田 この建物は、明治42年に建築され、大正13年、有朋公の別荘として移築されたものです。

美歩 100年以上前に建てられた

のに、デザインも回りの農村風景と調和していて絵画のようですね。

津野田 設計は、明治の近代洋風建築の大家である工学博士の伊東忠太で、現存する数少ない洋風木造建築です。平成2年に、県の文化財に指定されています。早速、館内を見てください。

係員 いらっしゃいませ。館内には、ご覧のような大礼服、天皇家より御下賜の数々の貴重な品のほか、有朋公の遺品や史料を展示しています。

ゆっくりとご覧いただき、明治の趣を感じてくださいね。



美歩 館内も雰囲気があって、とてもいい感じですね。

津野田 ここには、明治・大正期の歴史を伝える貴重な史料が展示されています。陸軍創設時に有朋公が作成したといわれる『軍隊手帳第一号』のほか、手記などが1500点近くあり、西郷隆盛、岩倉具視、大久保利通、伊藤博文などからの書簡を多数収蔵しています。

2階の応接間には、華やかな調度品が展示されているので、近代日本黎明期の趣を感じることができます。



りんごと山縣農場

津野田 ところで美歩さん、りんごは好きですか？

美歩 大好きです。矢板育ちですから、矢板のりんごは大好きです！

津野田 県内1位の生産量を誇る矢板のりんごですが、市史によると、大正3年に有朋公が青森県から技師を招き、りんごの苗木を栽培した記録が残っています。もしかすると、矢板のりんごの元祖かもしれません。

美歩 それは知りませんでした。広大な農場でいろいろな取り組みをしていたんですね。

津野田 そして、もう1つ今話題の史料が館内に展示してあります。こちらをご覧ください。

美歩 古い地図と、筆文字で書かれた文書のようなものですか？



津野田 今年4月に、ある番組収録で旧山縣農場事務所にある開かずの金庫を開錠したとき、山縣農場の開設に関する史料などが発見されました。山縣農場は、設立の経緯やその規模について諸説ありましたが、今回の発見によって、当時の状況を詳しく解明することができそうです。

美歩 すごい！まさにお宝じゃないですか。何かわかったことはあるんですか？

津野田 史料は、いずれも土地取引に関するもので、中でも明治17年の書類に添付されていた「拝借地図面」は、農場の範囲や地形、道のほか、字名まで記されていて、当時の農場の姿を補ってくれる貴重な史料となります。また、有朋公が農場を開設する際、矢板武が地元住民と仲介役を担ったという話も残されていましたが、それを裏付ける史料も発見されました。発見された史料は8月まで展示していますので、日本遺産に認定された山縣有朋記念館に足を運んでいただき、明治の風情を感じてもらいたいと思います。

矢板武の名前が出たところで、同じく日本遺産に認定された「矢板武記念館」にも行ってみましょう。

矢板武記念館



矢板 武

矢板武（1849～1922年）は、明治から大正時代に活躍した政治家・実業家で、矢板を中心に栃木県北地域に多大なる功績を残した人物。活躍した分野は多岐に渡り、政治分野のほか、経済界では日本の大動脈のひとつである国道4号や現在のJR宇都宮線（東北本線）の開通、地元銀行の設立から経営まで陣頭指揮をとり、その手腕を発揮した。

歴史を語り継ぐ

矢板武記念館に到着した美歩さんを出迎えてくれたのは「矢板ふるさとガイド協議会」の小川会長（写真中央）と坂巻さん（右）。



ふるさとガイド協議会には、15人の方が登録しており、矢板武記念館のほか、木幡神社、川崎城跡公園などの文化財を解説するボランティア活動を行っています。

矢板の歴史をより多くの方に知ってもらいたいと、日々史跡の研究を重ね、精力的に活動されています。

栃木県北発展の礎を築いた

美歩 今日はよろしくお願ひします。

小川・坂巻 よろしくお願ひします。

小川 美歩さんは、矢板武記念館に来たことはありますか？

美歩 小学生の時に社会科見学で訪れて以来なので、詳しくお話を伺いたいと思います。

小川 まずは、矢板武記念館についてご説明しますね。ここは、那須野が原開拓に力を注ぎ、印南文作と共に日本三大疎水の1つ「那須疎水」を築いた矢板武の生家を市が譲り受



け、武の功績を称え記念館として史料を展示している場所です。

美歩 広大な農地が広がっている那須野が原の発展も那須疎水があってこそ、と思うとその功績は大きいですね。

小川 そうですね。矢板発展の歴史も、矢板武を抜きに語れません。

現在の矢板は、東北自動車道、国道4号、JR宇都宮線、新幹線が縦貫する交通の要衝となっています。

普段の生活からよく利用する国道4号、JR宇都宮線の開通に、矢板武は大いに関わっているんですよ。

美歩 どのような関わりがあったのでしょうか？

坂巻 矢板駅の場所も当時日本鉄道会社理事であった武の尽力によるものですし、市役所の前を通る道路（元国道4号）も、木幡から記念館まで一直線に伸びているのは、ここを目印に工事を進めたからと言われています。

歴史的人物が集う場所

美歩 矢板のみならず県北全体の発展に大きく寄与した人だったんですね。今回認定された日本遺産も那須野が原の開拓に関係する史跡が中心ですから「那須疎水」なくして、今回の日本遺産は語れないような気がします。館内に、それにまつわる史料はあるんですか？



坂巻 こちら正面玄関の奥に1枚の額が飾られています。この額には、「聚塵亭」と書かれてあります。

美歩 どのような意味なんですか？

小川 矢板武は、山縣有朋、品川弥二郎、渋沢栄一、勝海舟など当時の元勳たちとの交流が深く、これが書かれた当時、矢板武は、那須野が原の開拓に身を粉にして取り組んでいました。国家規模の大事業ですから、政府関係者や政治家たちが絶えずこ

こに出入りしていて、活発な議論が行われていたそうです。

そんな様子を見た勝海舟が「塵まみれになって一生懸命働いている人たちが聚まる亭」と称え「聚塵亭」と名付け、書を残したといわれています。

美歩 今いる玄関から、歴史の教科書に登場する人物たちが多く出入りしていたと思うと、感慨深いものがあります。

激動の歴史の渦中で中心的に活躍していた方だったということがよくわかりますね。



遺志を継いで人が集まるまちに

小川 ところで美歩さん、矢板武の苗字について、矢板市は、矢板武の名前が由来かと、聞かれることがあるのですが、不思議に思いませんか。

美歩 確かに、言われてみればどちらも「矢板」ですから、不思議な縁ですね。

坂巻 矢板と名乗ったのは、明治維新の新しい戸籍制度によって、苗字を変えたからなんです。矢板という地名から、苗字を付けたと言われて

います。そして、旧姓は「坂巻」です。

美歩 もしかして、ガイドの坂巻さんもご関係があるんですか？

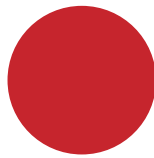
坂巻 私のご先祖さまになります。

ガイドとして、ご先祖さまの活躍をこうして皆さんにご紹介できるのは誇りですし、そして今回、日本遺産として認定を受け、より多くの方に知っていただく機会が増えたので、素直にうれしく思います。ぜひ多くの方に、訪れていただきたいと思

います。

美歩 現在も矢板では、市外から多くの方が訪れる数多くのイベントなどを開催していますが、お話を伺っていると、矢板武の遺志が今なお矢板市民の中に根付いているのなと感じます。日本遺産の認定を機に矢板に残された史跡の魅力や先人の思いを再認識できた気がします。

今日のご案内いただきありがとうございました。



JAPAN HERITAGE

日本遺産

日本遺産とは…

美歩 日本遺産のことについて、改めてお話を伺いたいと思います。世界遺産という言葉はよく聞きますが、日本遺産とは、どういったものなのでしょうか？

津野田 日本遺産とは、文化庁により平成27年度から認定が始まった制度で、地域の歴史的魅力や特色をストーリーとしてまとめ、そのストーリーを構成する文化財等を整備・活用し、観光資源として国内外に発信し、地域活性化を図ることを目的としています。

現在、全国で67の日本遺産が認定されており、栃木県内では那須野

が原開拓に関するストーリーのほか、宇都宮市の大谷石文化、足利市の近世日本の教育遺産群が認定されています。

ユネスコによって登録される世界遺産と異なる点についてですが、世界遺産は文化遺産や自然遺産を「保護」することを目的としていますが、日本遺産は「活用」することに重きが置かれています。



日本遺産の目指す方向性

美歩 これまでの、文化財保護の取り組みと具体的にどのような点が異なるのでしょうか？

津野田 先ほど申した通り文化財という点、今までは、その「保護」が重視されてきました。

「日本遺産」では、これまでの「保護」に加え「活用」を重視し、文化財群を一体的にPRすることで、地域のブランド化・アイデンティティの再認識を促進していくことを目的としています。

美歩 守るだけでなく、文化財のもつ歴史的背景などの物語（ストーリー）を共有することで、地域全体のブランディングを行おうということですね。

「日本遺産」のイメージ



日本遺産を通じた地域活性化の取り組み

【目指す将来像とは】

美歩 構成市町の4市町では、どのようなビジョンを描いているんですか？

津野田 将来像としては、明治からの開拓が「人」と「文化」と「食」がもたらす「回遊性の高い広域観光地」を目指しています。

【取り組みの概要とは】

美歩 魅力度の向上により国内外から観光客を集客し、地域全体の経済活性化につなげるために、具体的にはどのようなことに取り組んでいくのでしょうか？

津野田 県北地域は、新鮮な空気と水がある豊かな自然に囲まれ、その中で育った農作物を各地域のブランドとして、その価値を高めていく取り組みを行います。

また、点在する構成文化財を面的に捉え、歴史・文化という分野で新しい観光エリアとして磨き上げを進め、既存の観光地との回遊性を高め

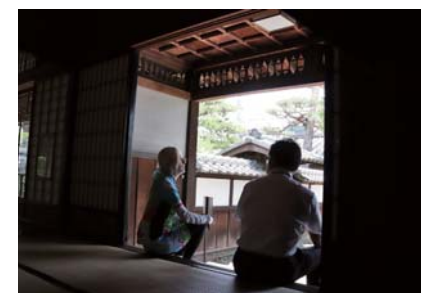
て国内外からの観光客を集客し、経済効果を高めていきます。

美歩 今日、2つの記念館を訪れてみて、歴史の深さ、両氏の偉大さを改めて感じました。

県北全体で、日本遺産に認定された史跡などが32もあるので、自転車を例にとってみても、日帰りコースや宿泊を伴うロングライドコースなど、魅力的な周遊ルートをつくっても作れそうですね。自転車の分野では既に広域連携をしているので、取り掛かりやすいかもしれません。

このほかにも、既存の団体間で連携を図ることで、多くの方が訪れる魅力ある地域になっていくのではないのでしょうか。

今後、より魅力的な県北地域になっていくことを期待しています。



明治貴族が描いた未来 ~那須野が原開拓浪漫譚~

【ストーリーの概要】

わずか140年前まで人の住めない荒野が広がっていた日本最大の扇状地「那須野が原」。明治政府の中枢にあった貴族階級は、この地に私財を投じ大規模農場の経営に乗り出します。近代国家建設の情熱と西欧貴族への憧れを胸に荒野の開拓に挑んだ貴族たち。その遺志は長い間

を経て、那須連山を背景に広がる豊饒の大地に結実しました。ここは、知られざる近代化遺産の宝庫。那須野が原に今も残る華族農場の別荘を訪ねると、近代日本黎明期の熱気と、それを牽引した明治貴族たちの足跡を垣間見ることができます。

「日本遺産申請書ストーリー概要」より

【各市町の主な構成文化財】

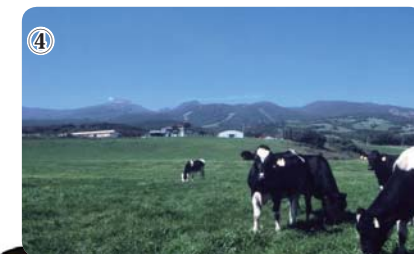
那須塩原市

旧青木邸那須別邸 (道の駅 明治の森) 那須疏水旧取水施設 松方別邸 など



那須町

南ヶ丘牧場 那須町共同利用模範牧場 山田農場事務所跡 謝恩碑 など



矢板市

山縣有朋記念館 山縣農場 矢板のりんご 矢板武記念館



大田原市

西郷神社 御亭山緑地公園 那須基線 (南端点) 大田原市大野放牧場 など



①旧青木邸那須別邸 ②那須疏水旧取水施設 ③南ヶ丘牧場 ④那須町共同利用模範牧場 ⑤西郷神社 ⑥御亭山緑地公園